

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願ひ

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	人工知能(AI)を利用した胸部単純エックス線画像用診断支援システムの製品開発および評価
研究責任者	放射線科 増井孝之
研究実施体制	単施設
研究期間	2022年9月1日～2024年3月31日
対象者	聖隷浜松病院で胸部単純X線写真を撮像した患者(20歳以上): 正常、結節影または浸潤影が対象(2010年1月1日から24年1月1日)。
研究の意義・目的	<p>日本における死亡原因の第一位は悪性新生物(全体の27.9%)であり、悪性新生物の部位別でみた場合には『気管、気管支および肺』が男女ともに最も多いとされます。また、肺炎による死亡も日本における死亡原因の第五位であり、呼吸器疾患は日本における主要な死亡原因となっており、早期発見、早期治療が望まれます。</p> <p>これまで、当院ではコニカミノルタ社との共同研究(研究承認番号:3226)において、胸部X線画像の健診・検診・診療で得られた読影判定と胸部単純エックス線画像用診断支援システム(以下、CXR-AIソフトウェア)での解析結果とを比較し、CXR-AIソフトウェアの検出精度評価を実施してきました。結論として、専門医以外に対する診断支援を期待する場合、更なる検出精度の改善が必要との見解に至りました。</p> <p>共同研究の目的は、CXR-AIソフトウェアの検出精度向上とその評価です。</p> <p>今後、検出精度改善されたCXR-AIソフトウェアを当院に導入することで、胸部単純エックス線画像の読影精度の向上に寄与することが期待されます。</p>
研究の方法	当院で撮像されPACSに保存されている胸部単純エックス線画像のうち、正常、結節影または浸潤影が存在する症例を抽出し、専門医による病変位置の特定作業を行います。対象画像、病変位置情報(診断レポート含む)をCXR-AIソフトウェアの病変検出精度改善および検出精度評価のため、コニカミノルタ株式会社へ提供します。
個人情報の取扱い	本研究では、コニカミノルタへ提供するデータは全て特定の個人を識別できず復元できない程度まで匿名加工し、匿名加工情報として提供します。研究成果は個人情報が入っていない状態で学会等で発表されることがあります。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。

資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 放射線科 (氏名)増井孝之 TEL:053-474-2222(代表) 放射線科 9:00~17:00 平日